



天文学入門講座

クリスマス特別企画 『クリスマスとベツレヘムの星』

日時：平成24年12月22日(土) 15:00~16:30(受付14:30~)

■ 講師：河北 秀世 神山天文台長(本学理学部 教授)



講師紹介：河北 秀世
(かわきた ひでよ)
神山天文台長、本学理学部教授。
専門は太陽系天文学。
主要研究テーマは、彗星から探る太陽系の起源。

「ベツレヘムの星」とは、イエス・キリストがベツレヘムという街で誕生した時に、東方の三博士が生まれたばかりのキリストを訪ねる際に目印にしたとされる「星」です。クリスマス・ツリーのとっぺんに飾ってある星が、ベツレヘムの星を表しています。ところが、このベツレヘムの星というのは、正体がよくわかっていません。今、探しても、これに相当する天体が見つからないのです。今回の講演では、ベツレヘムの星について簡単に紹介し、その正体として考えられているいくつかの説について、天文学的な背景も含めてお話します。



会場	京都産業大学 神山天文台 地下1階 サギタリウスホール		
申込み	不要(当日直接、神山天文台へお越しください) ※満席の場合は入場できないことがございますので、あらかじめご了承ください。		
対象	全年齢対象 (小さなお子様も参加頂けます)	参加費	無料
主催	京都産業大学 神山天文台	後援	京都市教育委員会
その他	●当日は14:00~20:00まで一般公開を実施します。 ※18:00~20:00は天体観望会(天候不良の場合は宇宙の3D映像上映)		

